

## 猫と人の200年 —アートになった猫たち— 4/15(土)～6/4(日)

猫は、人が愛玩し、人を癒やし、私たちの暮らしに寄り添ってきた動物です。そのため人との関わりのなかで物語や絵画に多く登場します。“200年”の言葉通り、今から200年前の江戸時代にも猫ブームがあり、浮世絵の画題に多くとりあげられました。幕末浮世絵では歌川国芳、広重が、明治には芳年とその弟子芳藤たち、そして大正になると

竹久夢二、藤田嗣治、水野年方らが個性的な猫を描きました。美人画や戯画に登場し、女性と戯れる猫、踊る猫、芸をする猫、役者の顔で着物を着た猫の他に、恐ろしい化け猫などなど、喜怒哀楽を表現した“猫たち”の姿を楽しむとともに、その時代の猫へのまなざしをご覧ください。

- 記念講演会**
- 「黒猫奇譚(くろねこきたん)〜今も昔も猫が好きなお茶会たち〜」  
講師:中右 瑛 氏 (展示監修者・国際浮世絵学会常任理事)  
5月14(日) 13:30～15:00 講堂 定員150名
- 「新潟県の猫伝説」  
講師:高橋 郁丸 氏 (イラストレーター・新潟妖怪研究所所長)  
5月21(日) 13:30～15:00 講堂 定員150名

観覧料	当日券(団体料金)
一般	820円(650円)
高校・大学生	500円(400円)
中学生以下	無料

※団体料金は20名様以上

月岡芳年▶  
風俗三十二相 うるさう  
寛政年間処女之風俗  
中右 瑛 氏 所蔵



## クイズとたいけん!むかしのくらし 7/22(土)～9/3(日)

おじいさん・おばあさんがこどものころは、どんなくらしだったのでしょうか。この展示では、クイズに挑戦したり、むかしの道具にさわってあそんだりしながら、むかしのくらしのよいところ・いまのくらしとちがうところを見つけることができます。

さて、クイズです。下の2つの道具は、どちらも同じことをするための道具でした。何をするための道具だったのでしょうか?  
こたえは博物館でかくにんしてくださいね。



当館所蔵▲



▲当館所蔵

観覧料	当日券(団体料金)
一般	510円(400円)
高校・大学生	200円(160円)
中学生以下	無料

※団体料金は20名様以上

### 「むかしのくらし」の調べ方

7月30(日) 13:30～15:00  
研修室 定員15名

### どうくのおぼけMINGOO(ミングー)を見つけよう!

8月6(日) 13:30～15:00  
研修室 定員15名

## 川中島の戦い —上杉謙信と武田信玄— 9/16(土)～10/29(日)

「川中島の戦い」は、戦国時代、越後の上杉謙信と甲斐の武田信玄が、北信濃をめぐって信濃国川中島地方で繰り広げた合戦です。越後・甲斐の武将たちにとってこの争いの影響は大きく、さまざまなゆかりの品が伝わっています。また、この争いは江戸時代以後の人々の心もとらえ、草双紙や錦絵の題材とも

なって広まりました。本展覧会では、この戦いについて、その実際とのちの伝承の広がりをご紹介します。



◀長尾虎虎書状  
当館所蔵

「信濃からみた川中島合戦」  
講師:村石 正行 氏 (長野県立歴史館学芸員)  
9月24(日) 13:30～15:00 講堂 定員150名

「川中島合戦はどのように伝えられたか」  
講師:石川 博 氏 (駿台甲府高等学校教諭)  
10月22(日) 13:30～15:00 講堂 定員150名

観覧料	当日券(団体料金)
一般	820円(650円)
高校・大学生	500円(400円)
中学生以下	無料

※団体料金は20名様以上



◀金銅草薺  
山形県南陽市・熊野大社 所蔵

## 守れ!文化財 —博物館のチカラ、市民のチカラ— 平成30年 1/13(土)～3/21(水祝)

文化財は、誰が、どのように守っているのか。博物館はその役割を担っている機関として存在しますが、市民のチカラこそ重要です。博物館がどのように守っているのか。ま

た、自然災害発生に伴って、どのような活動をしているのか。文化財を「守る」というその姿を知ってもらい、その意義を感じてもらいたいと思います。



▲陸前高田市立博物館 地質標本整理作業  
写真提供:若手県立博物館

「博物館で守るということ(仮題)」  
講師:半田 昌之 氏  
(公益財団法人日本博物館協会・専務理事)  
3月17(土) 13:30～15:00 講堂 定員150名

観覧料	当日券(団体料金)
一般	510円(400円)
高校・大学生	200円(160円)
中学生以下	無料

※団体料金は20名様以上



## 体験コーナー (体験無料)

毎週土・日と祝日の13:30～16:00に実施。体験コーナーは、常設展示室内にあります。  
※1/14(日)は臨時に体験コーナーをお休みします。(15:30に受付終了)

- いにしへの遊びを楽しもう! 3月25日～4月23日  
投扇興・貝覆い・盤双六など古くから伝わる遊びを体験できます。
- ネコ缶バッジを作ろう! 4月29日～6月4日  
ネコの絵をおさめた缶バッジを作ります。
- 謙信・兼続に変身!① 6月10日～7月2日  
上杉謙信や直江兼続の鎧(※模造品)を身につけて、戦国武将に変身します。
- 狩衣・十二単に変身!(子ども用)① 7月8日～7月17日  
男の子は狩衣、女の子は十二単を着て、平安時代の貴族に変身します。
- 昔の遊び道具で遊ぼう! 7月22日～8月13日  
いろいろな昔の遊び道具で遊んでみましょう!
- ミニ草履の飾りを作ろう! 8月19日～9月3日  
毛糸とモールを利用して、小型の草履型の飾りを作ります。
- 糸つむぎをやってみよう! 9月9日、9月10日  
糸車を使って、綿玉から糸にする工程を体験します。
- 作って遊ぼう、戦国時代! 9月16日～10月9日  
幟旗(のぼりばた)のミニチュアを作ったり、戦国時代に関連した遊び道具で遊んだりします。

- 謙信・兼続に変身!② 10月14日～10月29日  
上杉謙信や直江兼続の鎧(※模造品)を身につけて、戦国武将に変身します。
- 狩衣・十二単に変身!(子ども用)② 11月3日～11月23日  
男の子は狩衣、女の子は十二単を着て、平安時代の貴族に変身します。
- 切り紙で正月飾り 11月25日、11月26日  
切り紙で正月かざりの「はかま紙」を作ります。
- まが玉を作ろう! 12月2日～12月24日  
滑石を削って、縄文時代から古墳時代の人々が身につけていたまが玉を作ります。
- 縄文文様コロコロ体験 1月6日～1月28日  
オープン粘土で縄文土器のミニチュアを作り、様々な縄や道具を転がしてみます。
- そっくり模型を作ろう! 2月3日～2月25日  
縄文時代に使われていた道具・アクセサリーなどをオープン粘土で作ります。
- かんたんさき織り 3月3日～3月21日  
古い布を裂き新たな糸とし、新しく布を織るという伝統文化の「裂き織り」をします。
- 歴史パズルで遊ぼう! 3月24日～4月15日  
立体土器/パズルやひみつ箱などの歴史パズルで遊びます。

## 夏休み特別体験 (体験無料)

以下の期日(平日)に体験活動を行います。事前に予約申し込みが必要になります。  
申込先は、講座の申し込みをご覧ください。

- ★夏休み特別体験①「火おこし」 8月8日(火)(芝生広場) 定員:各50名  
きりもみ式で火をおこします。
- ★夏休み特別体験②「魔鏡を作ろう」 8月9日(水)(研修室) 定員:各25名  
光を反射すると模様浮かび上がる不思議な魔鏡を作ります。

- ★夏休み特別体験③「まが玉作り」 8月10日(木)(芝生広場) 定員:各50名  
まが玉を作ります。まが玉の彩色もできます。
- ※彩色だけの体験は、定員に関わらず当日随時受付する予定です。

## 講座 (参加無料)

※下記講座・体験教室の開催時刻は、13:30～15:00を基本としています。  
お申し込みの際にご確認ください。

- 国際博物館の日記念講座「博物館のチカラ」 5月20(日) 一般 定員50名
- 民俗収蔵庫見学会 6月17(日) 一般 定員15名
- 縄をつくる糸をつくる 7月22(日) 一般・親子 定員25名
- 指のレプリカを作ろう(夏の部) 8月5(土) 一般・親子 定員20名
- 作ってみよう「本格まが玉」 8月26(土)①10:00～12:00,②13:30～15:30 親子優先・一般も 各20名
- 明治英文旅行ガイドに見る新潟 9月2(土) 一般 定員50名
- 古文書講座 ～古文書読解のツボ～ (全4回) 10月7日、14日、21日、28日 いずれも土曜日 一般 定員35名
- 小林虎三郎とオランダ語 11月4(土) 一般 定員50名
- 古文書講座 ～江戸時代を探る～ 前編・後編 11月11(土)、18(土) 一般 定員35名

- 古代の史料を読む1 12月2(日) 一般 定員50名
- 古代の史料を読む2 12月9(日) 一般 定員50名
- サイノカミ 1月14(日) 15:00点火予定 定員なし
- 古文書講座 ～越後文書宝翰集を読み解く～ 前編・後編 1月20(土)、27(土) 一般 定員35名
- 火焰型土器の国際交流 2月10(土) 一般 定員50名
- 火焰土器の鶏冠頭をつくる 2月17(日) 一般 定員25名
- 指のレプリカを作ろう(冬の部) 2月24(土) 一般・親子 定員20名
- 博物館学人物伝・その8「文学と博物館学—森嶋外を中心として—」 3月10(土) 一般 定員50名

## 申込先 交流普及担当 (宛先等は表面参照)

お申し込みは、「電話」、「葉書」、「ファックス」、または「メール(koryu@nbz.or.jp)」でお願いします。  
いずれも、希望講座名、氏名、電話番号、住所の4項目を明記してください。  
※お申し込みいただいた際の情報は、次期講座一覧や講演会・イベント等の案内に使用させていただくことがあります。

## シリーズ「子ども」連続講座 (参加無料)

定員 各回50名  
13:30～15:00 研修室

- 「双子の考古学・民族学」 6月3(日) 講師:西田 泰民
- 「子どものための博物館—その歴史と今—」 7月8(日) 講師:山本 哲也
- 「戦乱の世と子どもたち」 9月30(日) 講師:前嶋 敏
- 「中国江南地域の産育儀礼～「満月」「百日」～」 11月25(日) 講師:陳 玲
- 「難遊びと人形」 3月3(日) 講師:大衆 和正

## 出前講座

当館研究員の調査・研究活動の成果を広く県民に普及するため、県内各市町村と連携し、各市町村の会場等で、講座を実施します。  
※今年度の予定や内容等については、  
交流普及担当 TEL(0258)47-6135  
までお問い合わせください。

## 共催展覧会

## 友の会展 「第14回マイ・コレクション・ワールド」

6月17(土)～7月9(日)  
新潟県立歴史博物館友の会会員だけでなく、広く一般のコレクターが収集したコレクションの展覧会。平成16年に始まって、今回が14回目となります。  
コレクターがそれぞれのコレクションにかける意気込みや、コレクションの来歴を披露。多様なコレクションの内容はもちろん、多様な人生にまで触れることのできる展覧会です。  
主催:新潟県立歴史博物館友の会

## 新潟県埋蔵文化財センター巡回展 縄文の造形美 —六反田南遺跡—

11月25(土)～12月17(日)  
糸川川の海辺から姿を現した六反田南遺跡。縄文中期土器群の造形美。蛇紋岩で作られた石斧の力強さ。文化庁主催展覧会「発掘された日本列島 新発見 考古速報2016」で全国を縦断した同遺跡の出土品が、ふるさと新潟を巡回します。

主催:新潟県教育委員会、(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団、十日町市教育委員会、糸川市教育委員会、新潟県立歴史博物館

## 子ども縄文研究展2017 ～縄文のメッセージ、私のメッセージ～

12月2(土)～12月17(日)  
「縄文」をテーマにして「総合的な学習の時間」に取り組み学校を支援するプロジェクト。「縄文」を学ぶ子どもたちの学習内容の深化がはかれるように、市町村域を越えての交流を推進しています。その子どもたちの研究成果を発表します。

主催:火焰街道博学連携プロジェクト、火焰街道博学連携推進研究会